

静心しゅー

★熊野高校静心図書館★

2018. 6. 19発行



先生たちがすすめる本

第1回
鈴木校長先生

第4号

校内読書週間が終わりました

6月4日～15日の校内読書週間で、図書館では様々なイベントを行いました。期間中は図書館が大勢の人でとても賑わいました。その様子を少し報告します。

15日の昼休憩にふろくの抽選会を図書委員が行いました。

人気のあるふろくには、15枚以上の応募が！！

当たった人はラッキー！おめでとうございます。

イベント「図書館ビンゴ」では、ビンゴを目指して

本を借りにくる人がたくさんいました。見事ビンゴになった

2-A 坪田くん、看3 中井さん、2-D 竹邊さんには

景品として、図書カードをプレゼントしました。

参加してくれたみなさん、ありがとうございました！

残念ながらビンゴにならなかった人にも参加賞を用意していますので、

まだ受け取っていない人は静心図書館まで♪



☆七夕 in 静心図書館

図書館に七夕の笹飾りを置く予定です♪ 短冊に願い事を書きこいてね！

7月の
図書館

おすすめしてくれる本は…

『日本史のなかの動物事典』 東京堂出版
金子 浩昌／著 小西 正泰／著
佐々木 清光／著 千葉 徳爾／著

Q. あらすじを教えてください。

- A. ユニークな動物事典。
世界一危険な動物でもなければ残念な動物でもない。普通の動物。しかし、その動物たちは日本人の生活に深く根を下ろし、唯一無二の存在となる。
著者は4人。哺乳類、鳥類、昆虫類、魚介類をそれぞれが担当。どの章も個性的で一癖ある。著者達はちょい悪親父に違いない。縄文より現代まで、日本人と動物のありとあらゆる関わりを通して動物を紹介している。
古来動物は信仰の対象となってきた。動物の特徴、人との関わりからその由来を明らかにし、日本民族の深層心理に迫る（おおげさか）。さらに遺跡、文献より当時の人がどんな動物を食べていたかを知ること、その時代の生活様式、それを生んだ自然環境、地形や気候、政治の有り様まで紐解いていく（かなり本気）。

Q. おすすめコメントをお願いします。

- A. 地味だが面白い。
日本史好きにも動物好きにもうける（対象は案外狭い）。どこから（どの動物から）読んでもいい。
歴史や生物の教科書で、本文ではなく、隅っこに書いてあるマイナーなネタや話題が気になる人はハまる。
この本と私の出会いは偶然。図書館をうろついていたら目に留まった。なにげなく手に取って見た本。それが新しい世界への窓口になることもある（確率は低いけど今回はなった）。ここに図書館散歩の醍醐味がある。普通なら高校生の目に留まらない本。でも読んでみたら面白かった。そんな本を紹介してみた。



ありがとうございました。
先生のおすすめ本は図書館に置いてあります。
気になった人は静心図書館へ！